



プロジェクト名称

まちラボおおみやプロジェクト

プロジェクト活動概要

大宮のまちづくりを考えるためのコミュニティ・ステーションである「まちラボおおみや」を、地域に関わっているさまざまな団体と連携しながら、より市民に役立つ施設にすることを目的としています。そのために、大宮のまちづくり関係者の方々とのつながりづくりや、学生まちづくり団体の設立などに向けて取り組んでいます。今年度のプロジェクトテーマとしては“大宮のまちづくり貢献のための「学」の基盤づくり”を掲げています。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 他大学とのまちづくり団体である（仮称）OM リーグを設立する
- ② OM リーグの Facebook ページの「いいね！」の数を 100 にする
- ③ OM リーグの所属学生を 20 人にする

プロジェクト設立初年度である 2016 年度は、上記 3 点を目標として掲げています。「まちラボおおみや」は、公民学が連携しながら大宮のまちづくりを考え、そして発信していく施設です。そのため、テーマを“大宮のまちづくり貢献のための「学」の基盤づくり”と位置づけて、学生まちづくり団体の設立に向けて、夏季期間は他大学との交渉に努めていました。しかし、交渉が難航しており、上記 3 点の目標は現在のところ達成できていません。今後も目標達成に向けて取り組んでいきますが、地域の人たちの声を反映できる団体になることも重要であるため、まずは大宮のまちづくり関係者の方々とのつながりづくりを優先していくことを検討しています。



活動状況報告&活動写真

活動期間：2016年6月1日～9月30日

(1) さいたま市タウンミーティング (実施日：2016年9月3日)

大宮区役所において、さいたま市が主催する「タウンミーティング」に参加しました。健幸都市づくり「スマートウエルネスさいたま」をテーマに、自然と身体を動かしたくなるまちづくりとはどのようなことか、さいたま市が健幸都市になるためにはどのようにすればよいのかなどを、さいたま市の市長さんや市民、他学生団体の方々とともに議論しました。さいたま市が行っている健幸マイレージやシルバーポイント事業、ゾーン30の推進、自転車通行環境整備事業などに対して参加者が意見を述べました。そのほかにも、健幸都市づくりとは異なる視点からの意見もあり、健幸やスポーツといったテーマ以外から健幸都市を考える大切さを感じました。さいたま市が目指している都市像を学ぶことができたので、今後の活動に反映していきたいと思えます。

(2) 大宮駅東周辺の視察 (実施日：2016年8月28日)

現在の大宮駅東の街並みや、近年進行している再開発の動向などを把握するために、現地視察を実施しました。一番街やWEST SIDE ST.といった大宮らしさを感じる商店街、大門町2丁目の再開発の現状、氷川参道などで、学生目線で見つけたまちの魅力は、今後の活動に活かしたいと考えています。また、この地域に来たことのない学部1年生にとっては、大宮を知ってもらおう良い機会になりました。



【写真1】現地視察のようす



【写真2】大宮駅東の街並み



今後の活動計画、目標、意気込み

今後の活動計画・目標としては、①大宮のまちづくり関係者の方々とのつながりづくり、②大宮のまちづくりに係る活動への参加、③学生まちづくり団体である（仮称）OMリーグの設立としています。

具体的な活動については、今後大宮のまちづくり関係者の方々との話し合いを通して、決めていきたいと考えています。地域の人たちが「学」（大学）に求めていることを把握するとともに、その実現に向けて取り組んでいきます。大宮のまちづくりが掲げている公民学連携の促進、「まちラボおおみや」がより市民に役立つコミュニティ・ステーションになること、学生自身がアクティブ・ラーニングを通じた地域に役立つこと・ものを企画運営する力の養成などのように、地域に関係するさまざまな方々のメリットにつながるような団体になれるように頑張っていきたいと思えます。

まちラボおおみやプロジェクトメンバー同